

中学生の「税」についての作文

市税務課では、納税意識の高揚を目的に、次代を担う中学生を対象に「税についての作文」を募集しました。この中から最優秀賞である小松島市長賞を受賞された小松島中学校3年生の岩佐 心利愛さんの作文を紹介します。

「ふるさと納税」

小松島中学校 三年

岩佐 心利愛



私が税の作文を何について書くか悩んでいたときに母が暑中見舞の葉書を見せてくれました。それはふるさと納税をした自治体からのものでした。

ふるさと納税とは、生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度です。手続をすると、寄付金のうち二千円を超える部分については所得税の還付、住民税の控除が受けられます。自分で寄付

金の使い道を指定でき、地域の名産品などのお礼の品もいただける魅力的な仕組みだそうです。

家にあったシャインマスカットは山梨県の自治体からお礼の品として送られてきたものでした。日本各地の名産品を楽しむことができるのもふるさと納税のいい仕組みだと思います。私の住んでいる徳島県のお礼の品には、すだちやすだち鮎、藍染めのタオルセットなどがありました。しかし調べていると、返礼品なしというものを見つけました。私が見たのは、東京都練馬区の新型コロナウイルス感染症の治療にあたって医療従事者、医療機関への寄付でした。この寄付を見るまでは、みんな欲しいお礼品を選んで寄付していると思いました。しかし、日々危険にさらされながら新型コロナウイルス感染症の治療に当たり最前線に奮闘している医療従事者や医療機関への支援のために返礼品なしの寄付をしている人もたくさんいることを知りました。自分ではなく誰かのために寄付をして助け合うことができるふるさと納税のしくみは、すばらしいことだと思います。

私はまだ働いていないので寄付をすることはできないけれど、将来自分で働いたお金でよりよい町になるためにふるさと納税を寄付したいと思いました。

私は今回この作文を書くことでふるさと納税について詳しく知ることができました。お礼品を目的にするのではなく、災害があつた地域や病气や薬への研究、開発に取り組まれている所、調べてみることで色々な使い道があることが分かりました。税金はまだまだ奥が深く分からないことが多いです。しかし、私たちが日ごろ納めてきた税金が、巡り巡って私たちの生活をより便利に、豊かにしているのだなと実感することができました。これから納税者となっていく私たち自身も税金についてもっと知っていくことが大切になってくると思います。

た。これからも、税に感謝しながら夢に向かってがんばっていかうと思えました。



受賞・入選された方々

今年度の「税についての作文」優秀作品の表彰を受けた方は次のとおりです（敬称略）。

【小松島市長賞】

小松島中学校 3年 岩佐 心利愛

【審査員特別賞】

小松島中学校 3年 多田 あかり

小松島南中学校 2年 濱口 碧陽

【入選】

小松島中学校 3年 上田 椛葉

小松島中学校 3年 大野 琉聖

小松島中学校 3年 露口 晴望

小松島南中学校 2年 谷崎 麗花

小松島南中学校 2年 松二 心春

【佳作】

小松島中学校 3年 垣内 凧咲

小松島中学校 3年 檜本 実来

小松島中学校 3年 徳山 ゆうな

小松島中学校 3年 藤川 結奈

小松島中学校 3年 松田 絢

小松島南中学校 2年 和田 愛椛

小松島南中学校 2年 多田 琴音

小松島南中学校 2年 原岡 咲